

全道11月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和6年10月10日
警察本部交通企画課

【概況】

- 発生件数、死亡事故ともに事故類型では、人対車両が突出して多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、約4割がシートベルト非着用で、非着用のうち約7割がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では死亡事故、重傷事故ともに16時から18時が最も多く、次いで18時から20時が多い。地形別では市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。
第1当事者(車両)の違反別では、死亡事故で見ると前方不注意、重傷事故で見ると歩行者妨害が最も多い。
年齢層別死傷者数では、65歳以上が突出して多く、全体の約5割を占めている。
道路横断中の死者のうち、歩行者側の5割に信号無視などの法令違反あり。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では14時から16時及び16時から18時が最も多く、地形別では非市街地直線が最も多い。
第1当事者の違反別では、操作不適が最も多く、そのうちの7割以上がスリップ等の冬型事故である。
- 自転車対車は、時間別では16時から18時が最も多く、地形別では市街地交差点が突出して多い。
事故類型別では、出会い頭が最も多く、出会い頭事故のうち、自転車側の約4割に法令違反あり。

注1 本資料は、令和5年12月末日までに入手した11月中発生 of 事故データにより作成したものである。

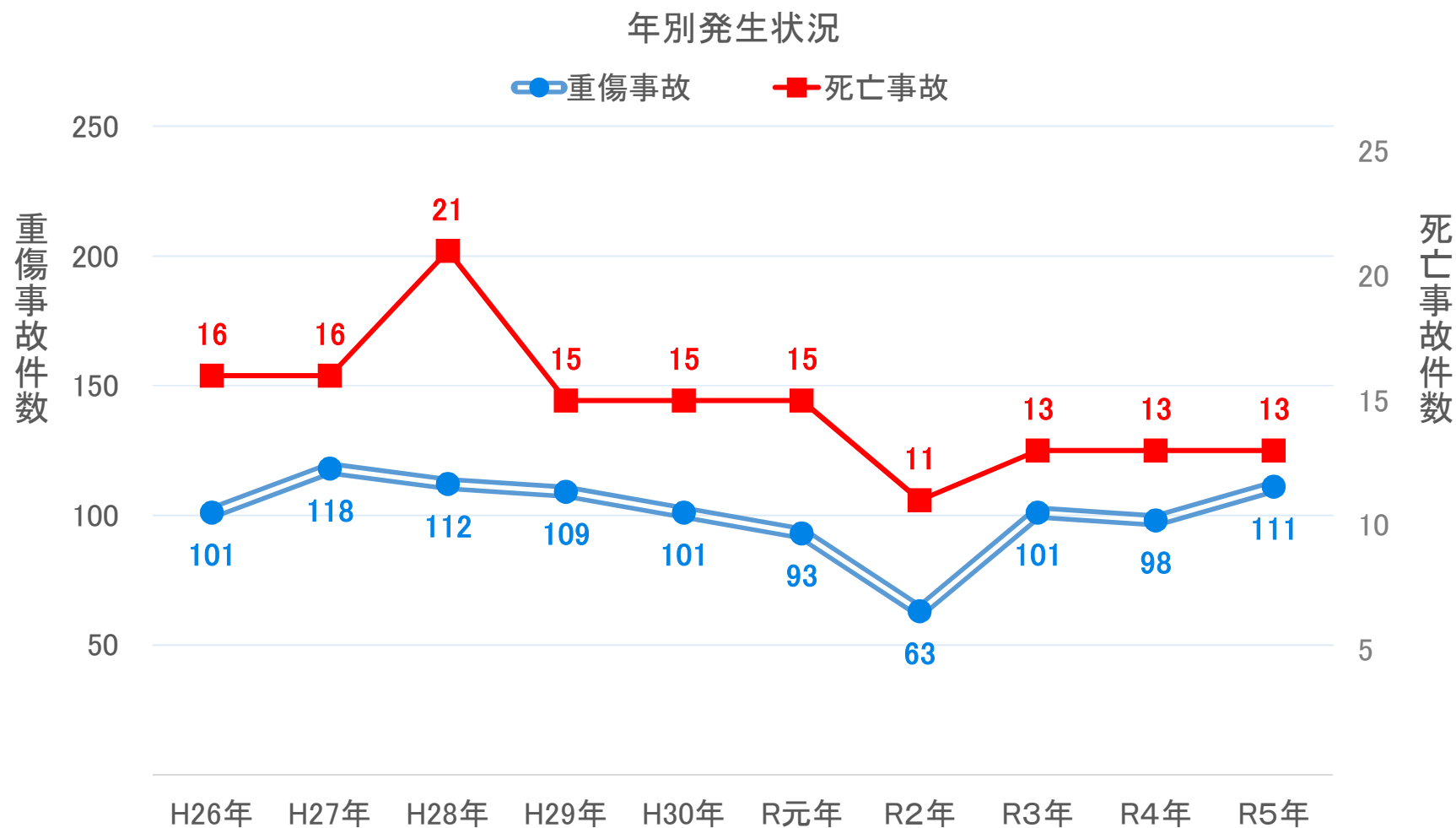
注2 「重傷」とは、1か月(30日)以上の治療を要する負傷をいう。

注3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

1-1 年別死亡・重傷事故発生状況

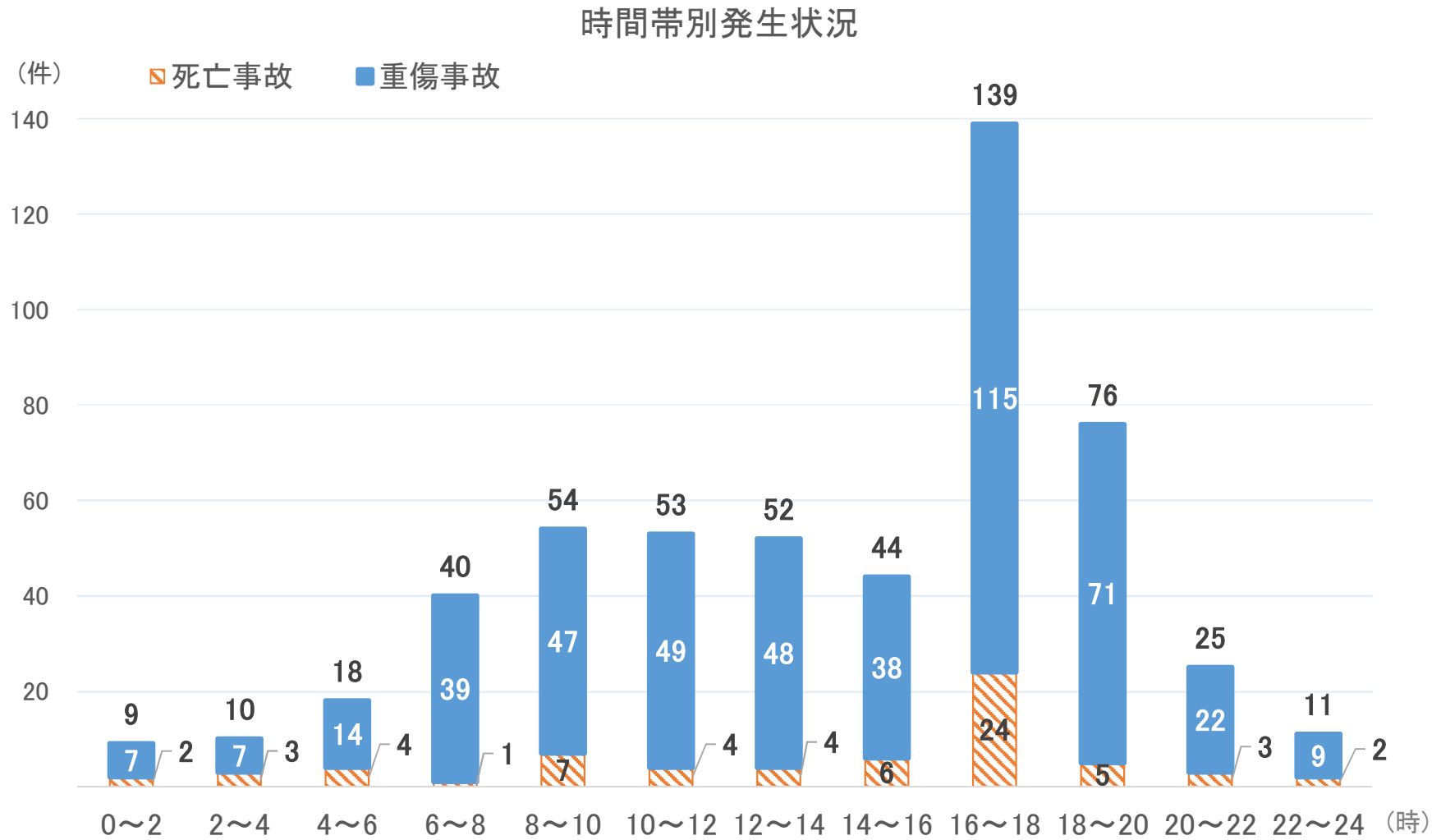
死亡事故については、増減を繰り返しながら減少傾向で推移し、令和3年からは横ばいで推移している。

重傷事故については、増減を繰り返しながらも減少傾向で推移している。



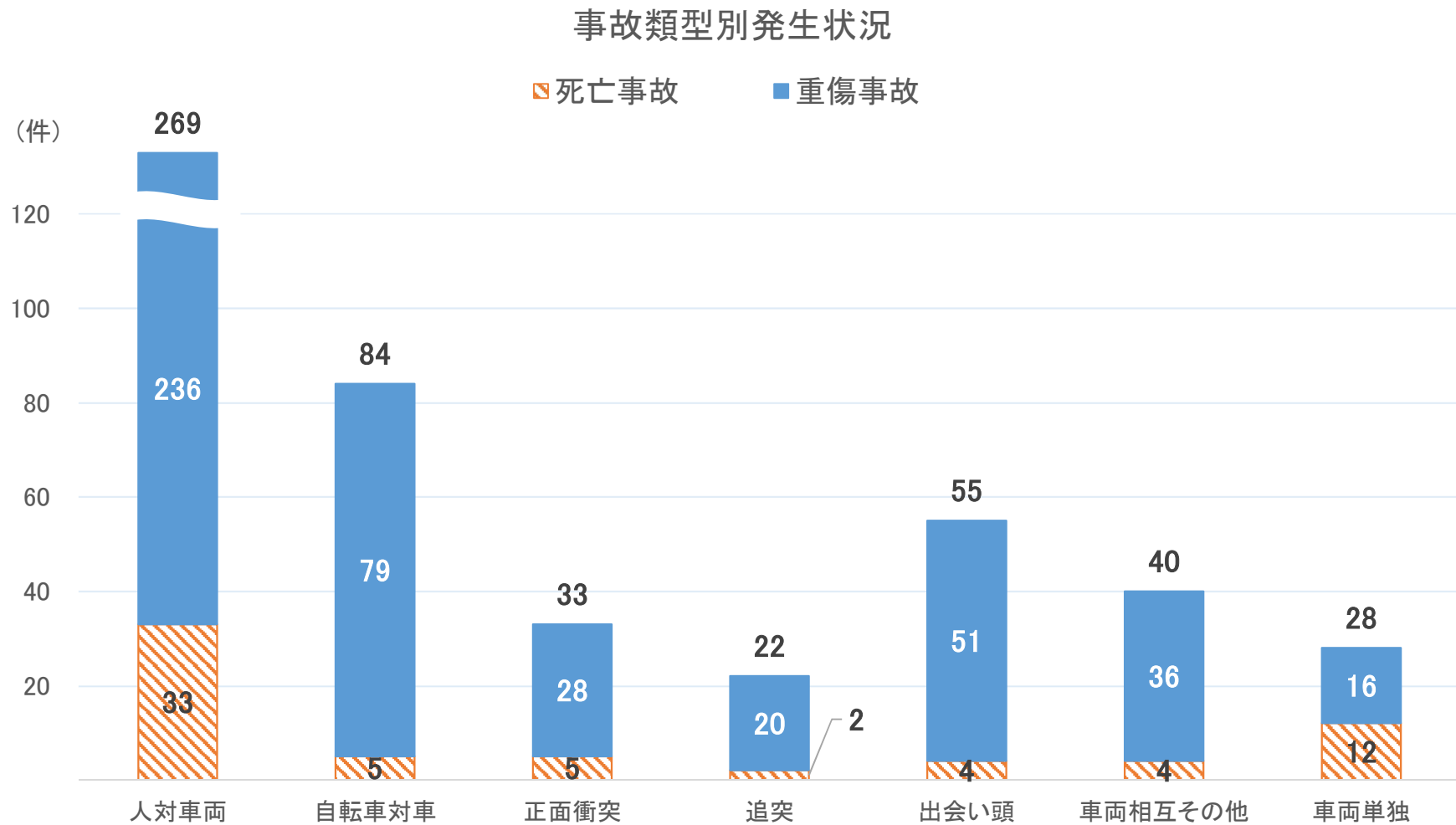
1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況

死亡事故、重傷事故共に16～18時が突出して多い。



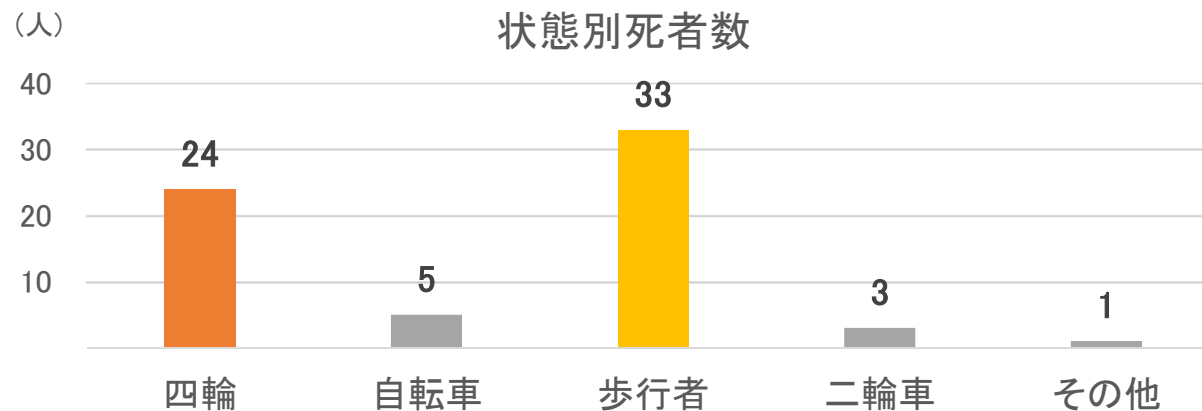
1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況

発生件数、死亡事故ともに、人対車両が突出して多い。



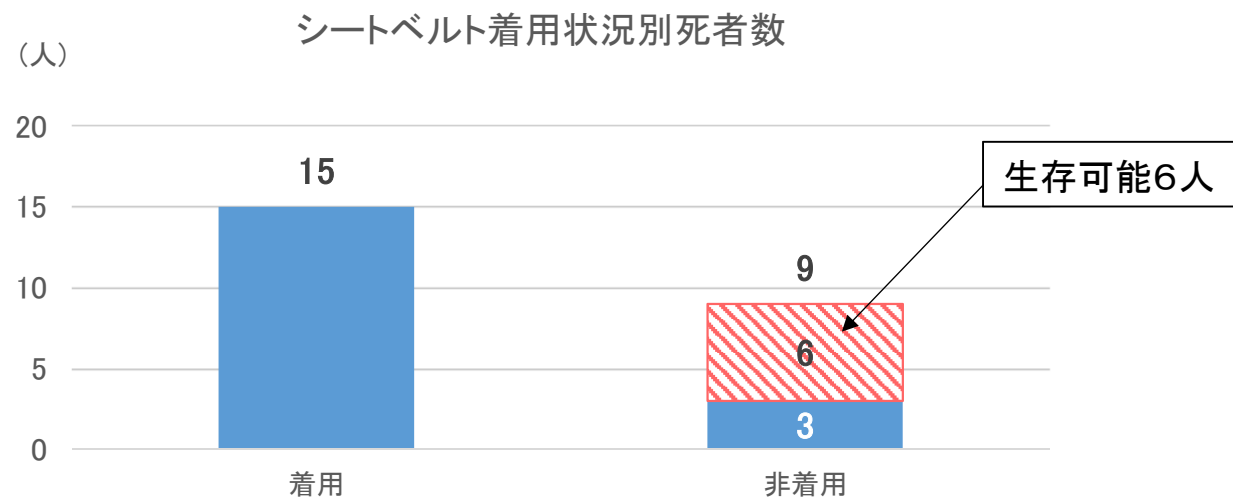
1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係

状態別死者数は、歩行者が最も多く、次いで四輪乗車中が多い。



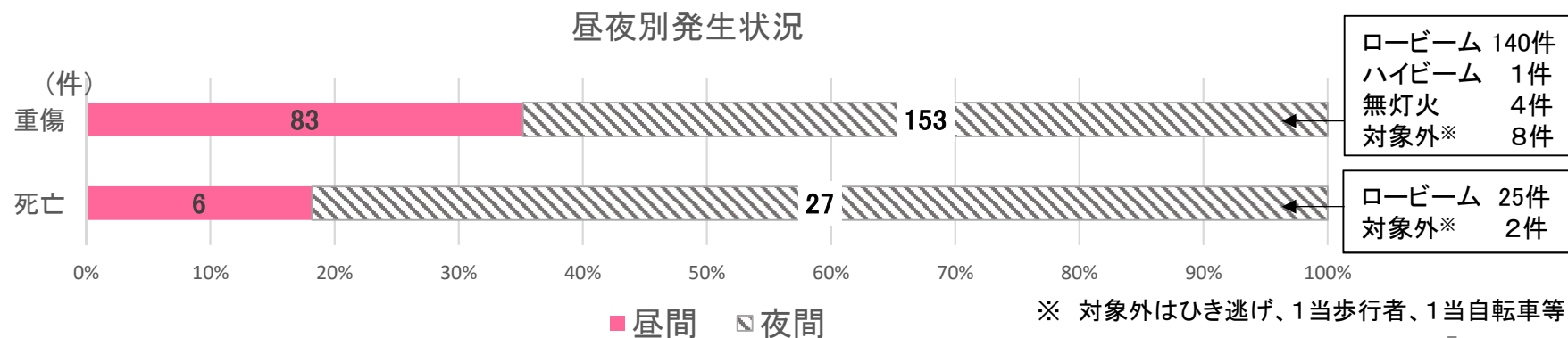
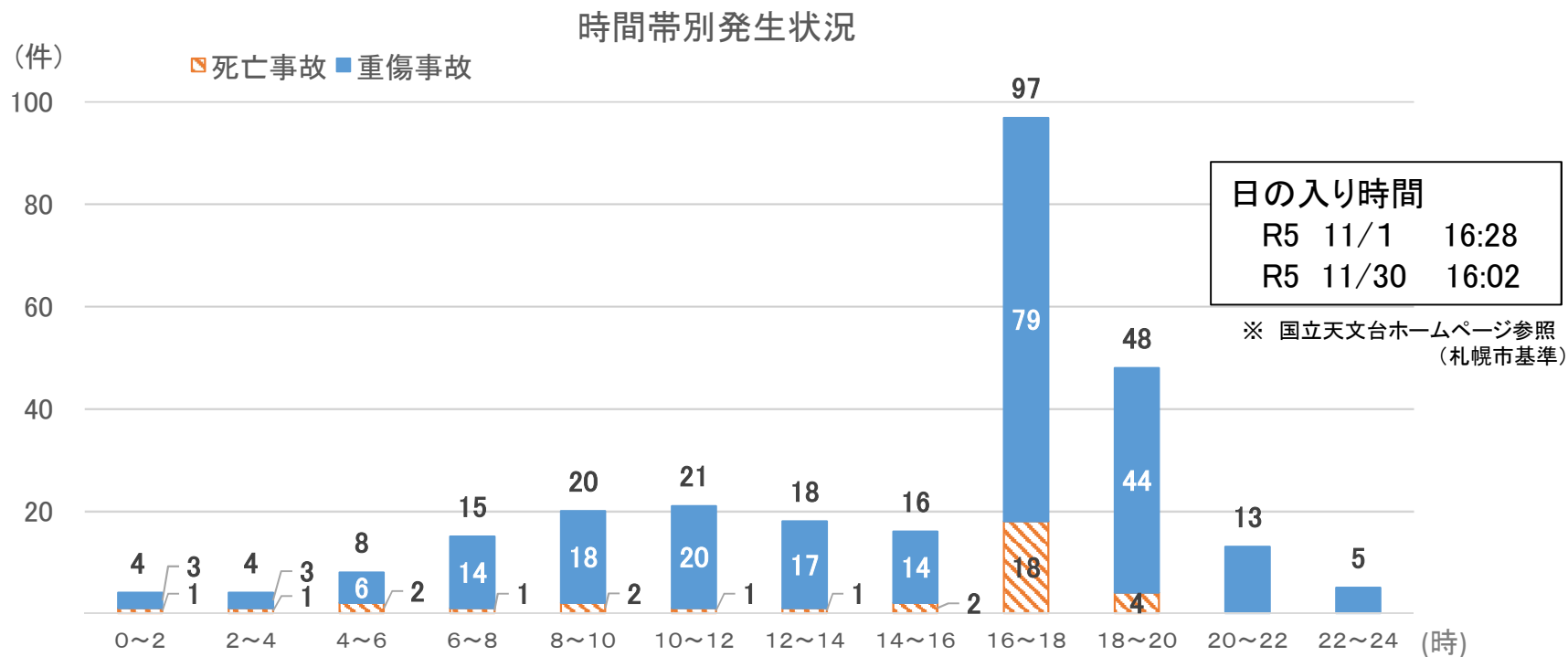
※ その他は、リヤカー、荷車等をいう。

シートベルト着用対象者(四輪)の死者24人中、シートベルト非着用者は9人(37.5%)であり、このうち6人(66.7%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



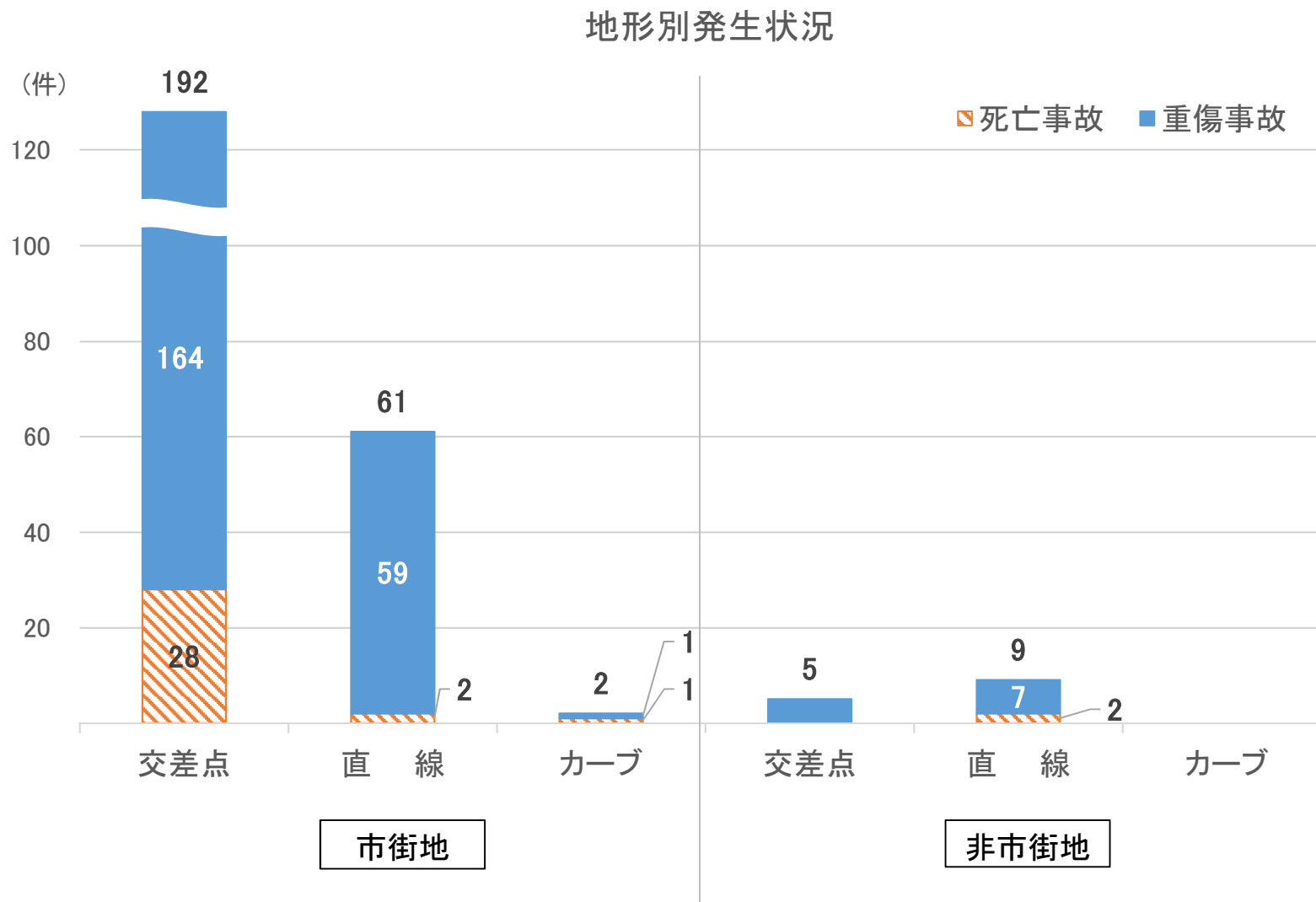
2-1 人対車両における時間帯別発生状況

死亡事故、重傷事故共に16～18時が最も多く、次いで18～20時が多い。



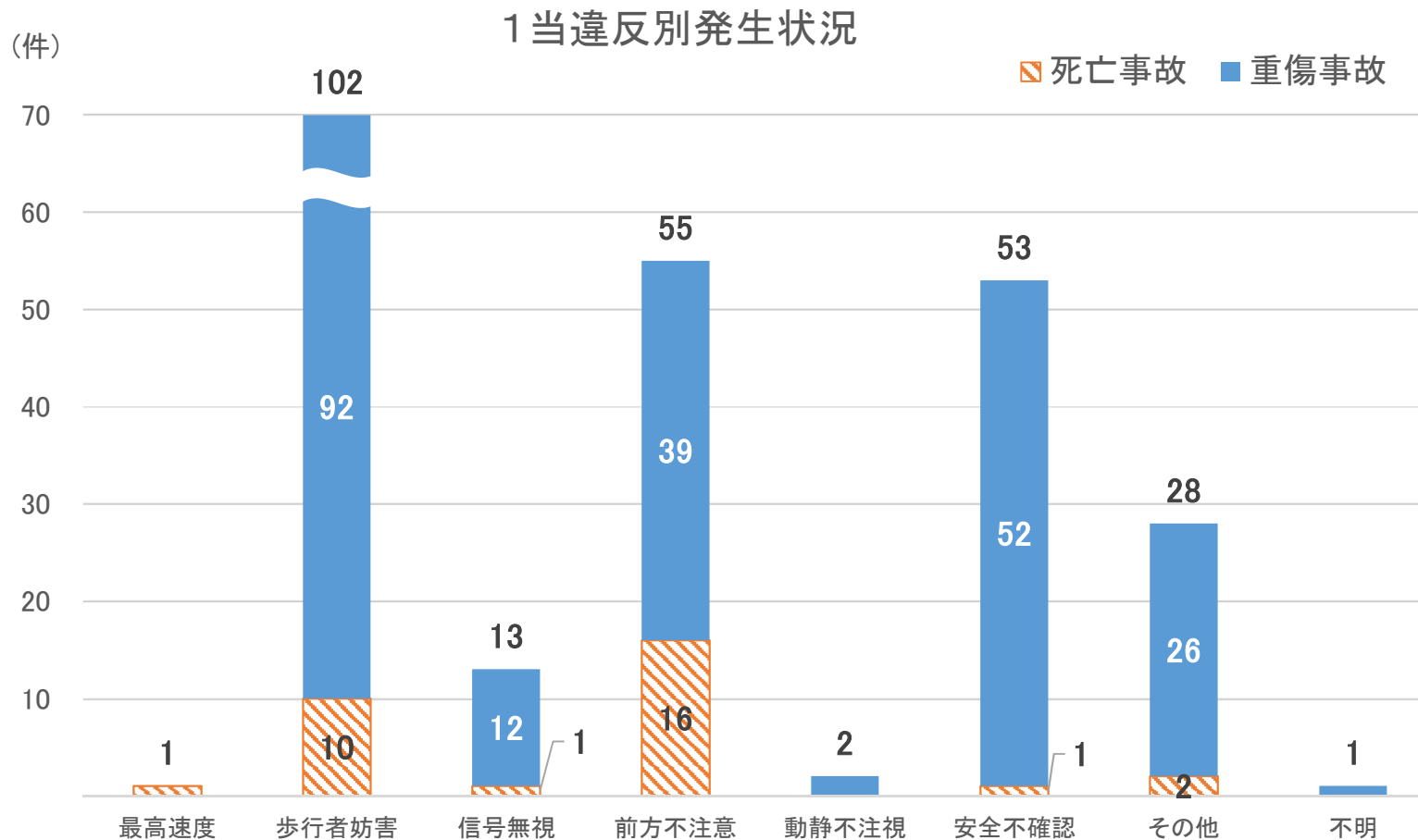
2-2 人对車両における地形別発生状況

市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。



2-3 人対車両における1当の違反別発生状況

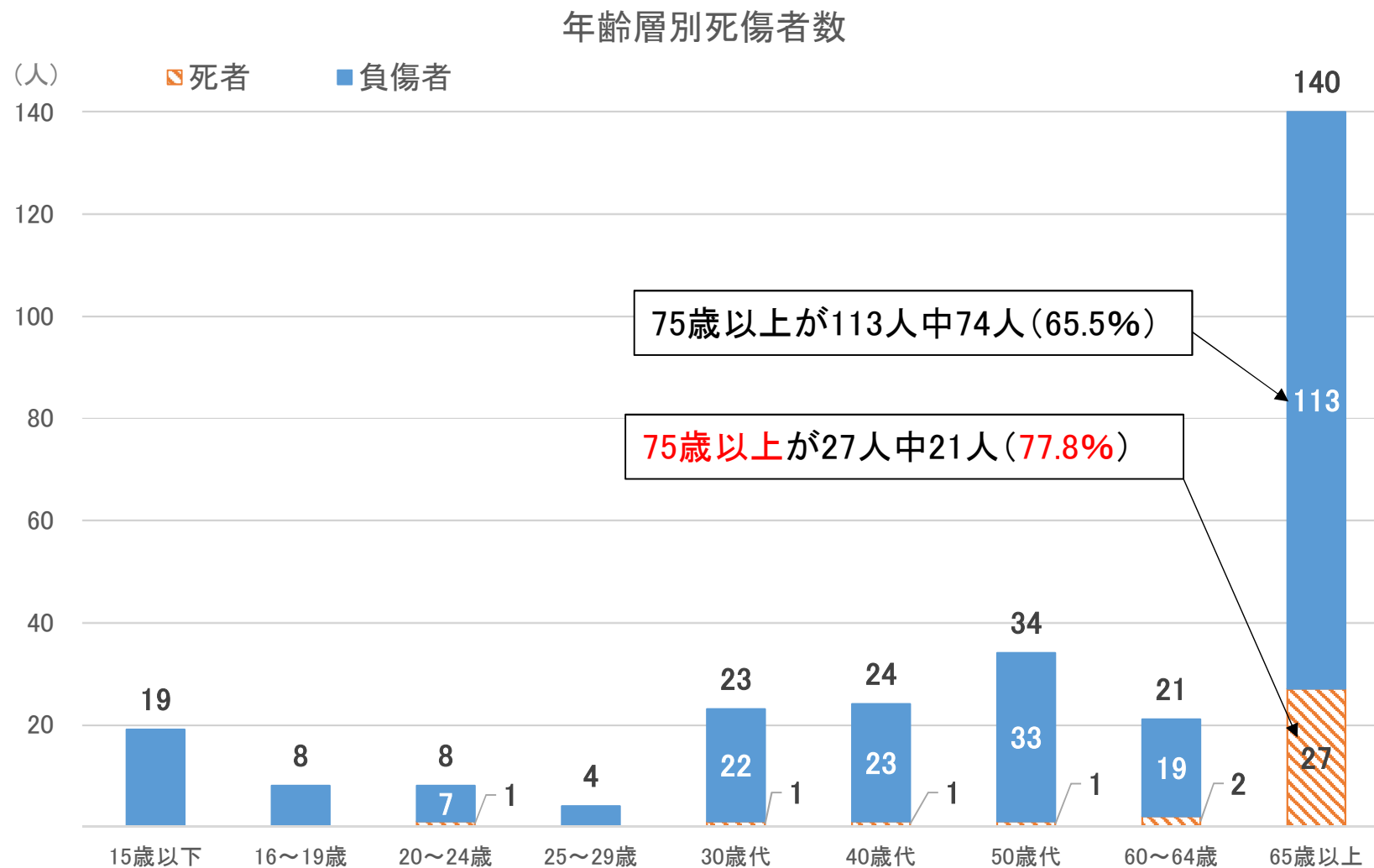
死亡事故で見ると、前方不注意が最も多く、次いで歩行者妨害が多い。
重傷事故で見ると、歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。



※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く

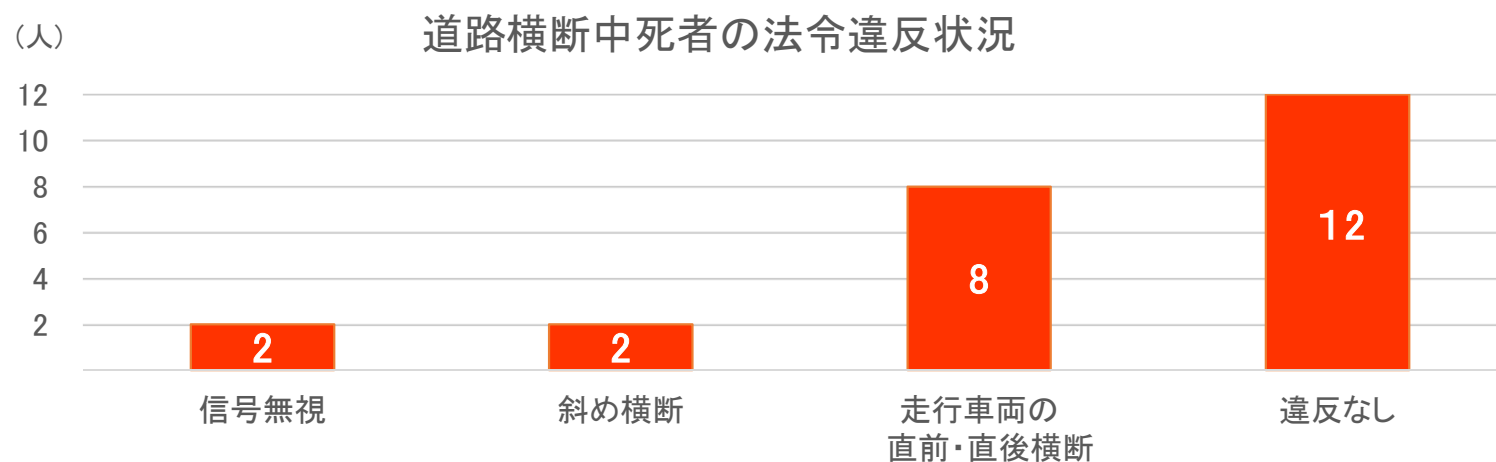
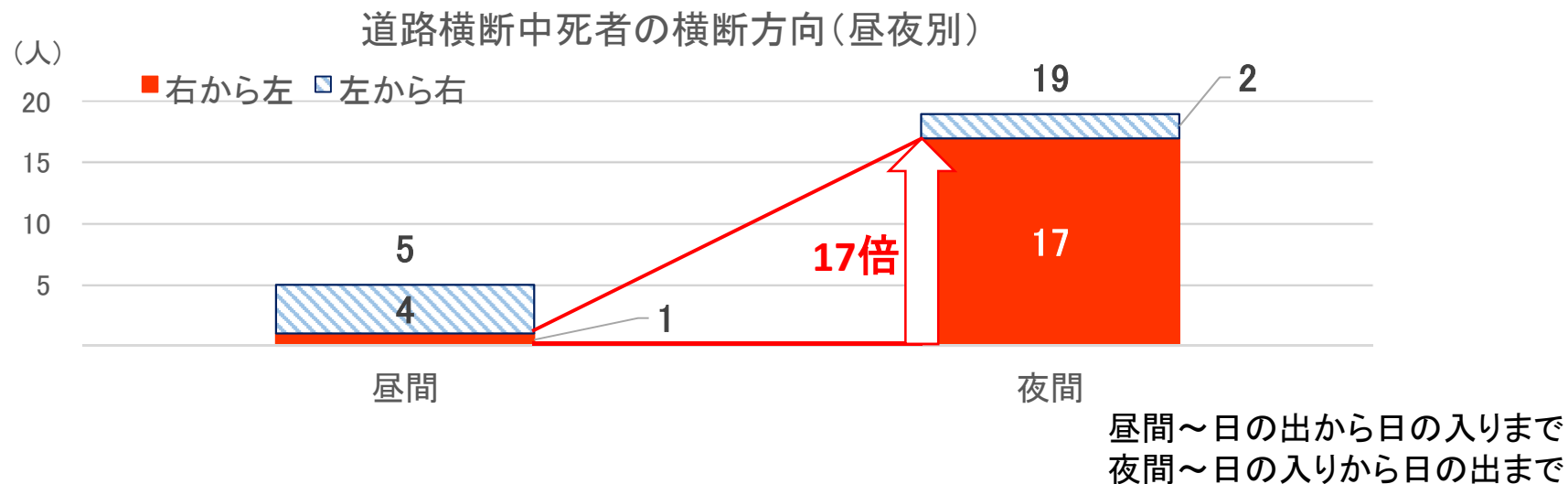
2-4 人对車両における年齢層別死傷者数

65歳以上が突出して多く、全体の約5割を占めている。



2-5 人対車両における歩行者の横断方向別死者数・法令違反状況

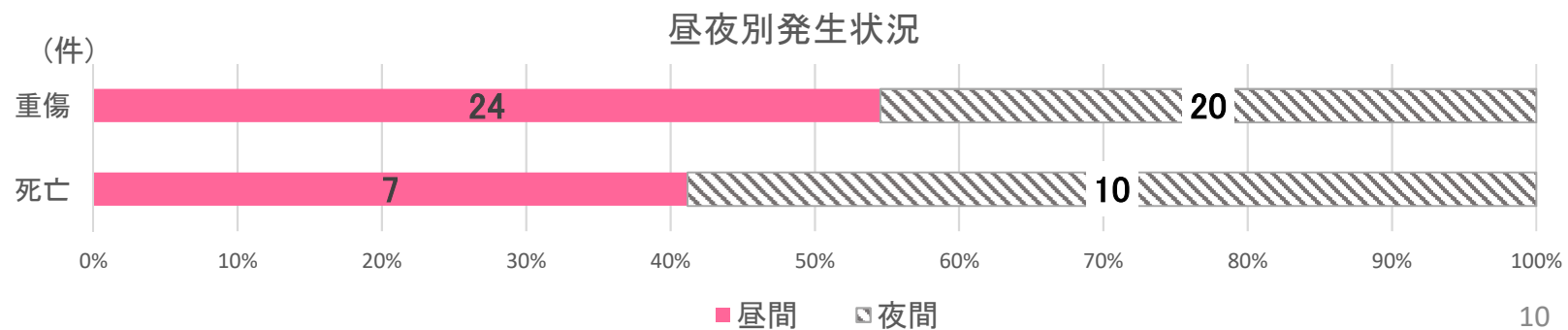
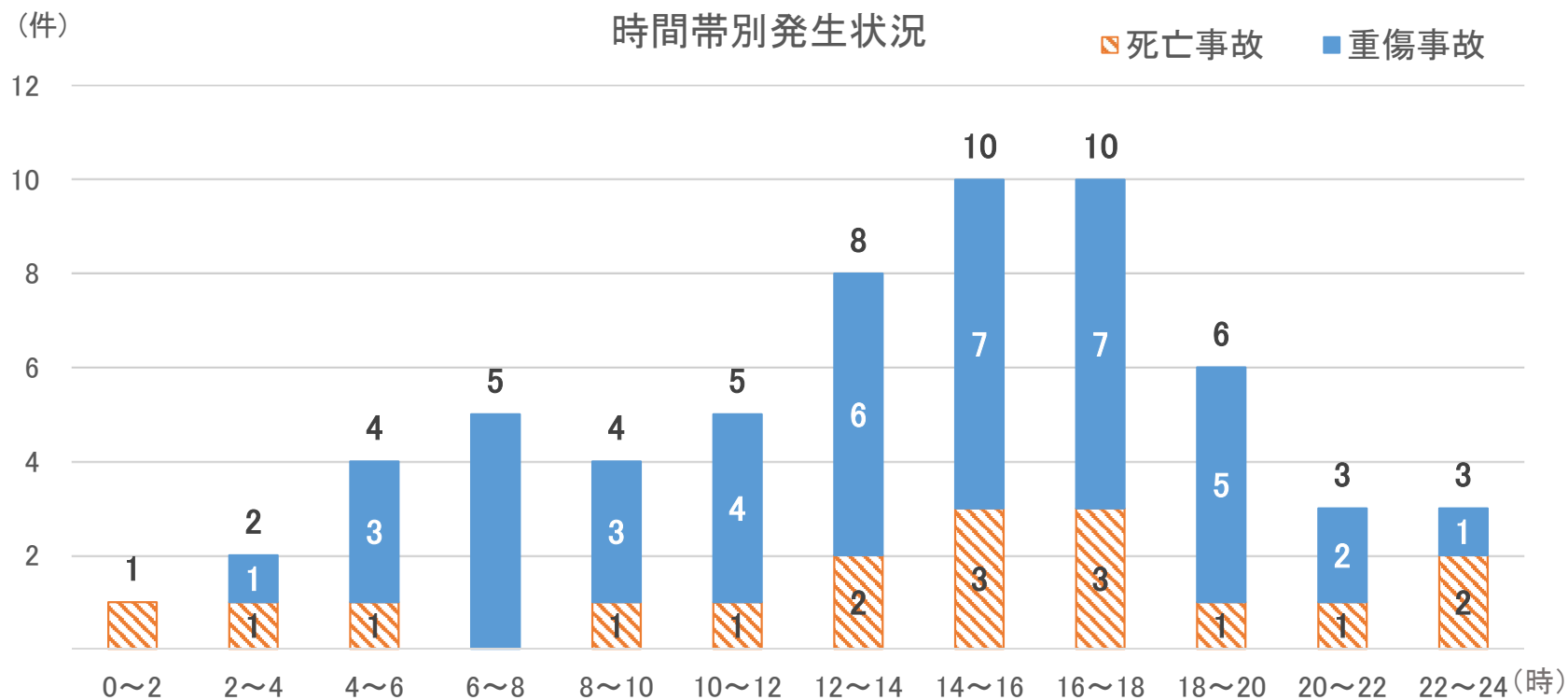
道路横断中の死者24人のうち、昼間が5人、夜間は19人となっており、夜間の右から左横断の死者は昼間の17倍である。



道路横断中の死者24人のうち、信号無視などの「違反あり」が12人(50.0%)となっている。

3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況

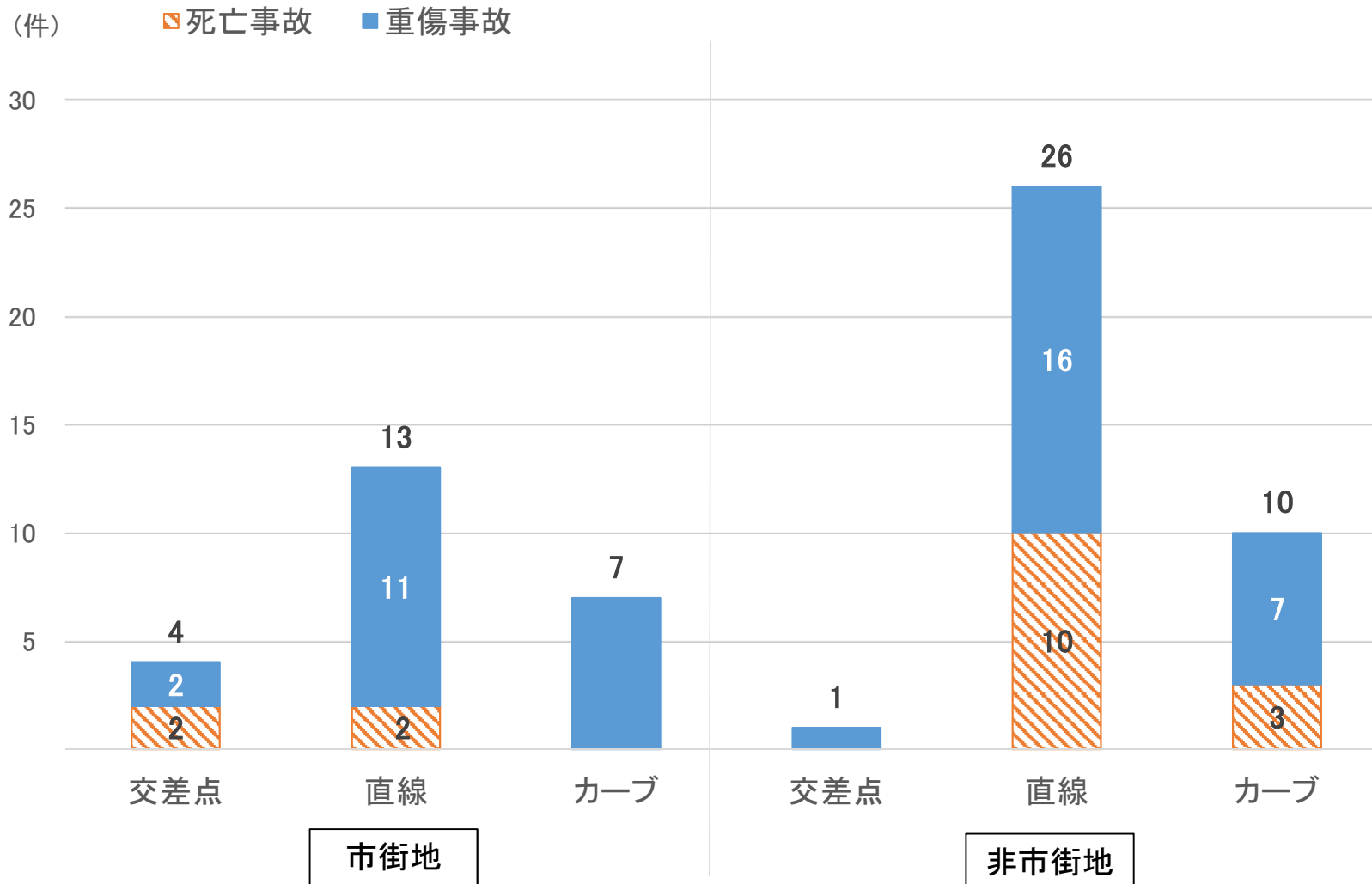
死亡事故、重傷事故ともに14～16時及び16～18時が最も多い。



3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況

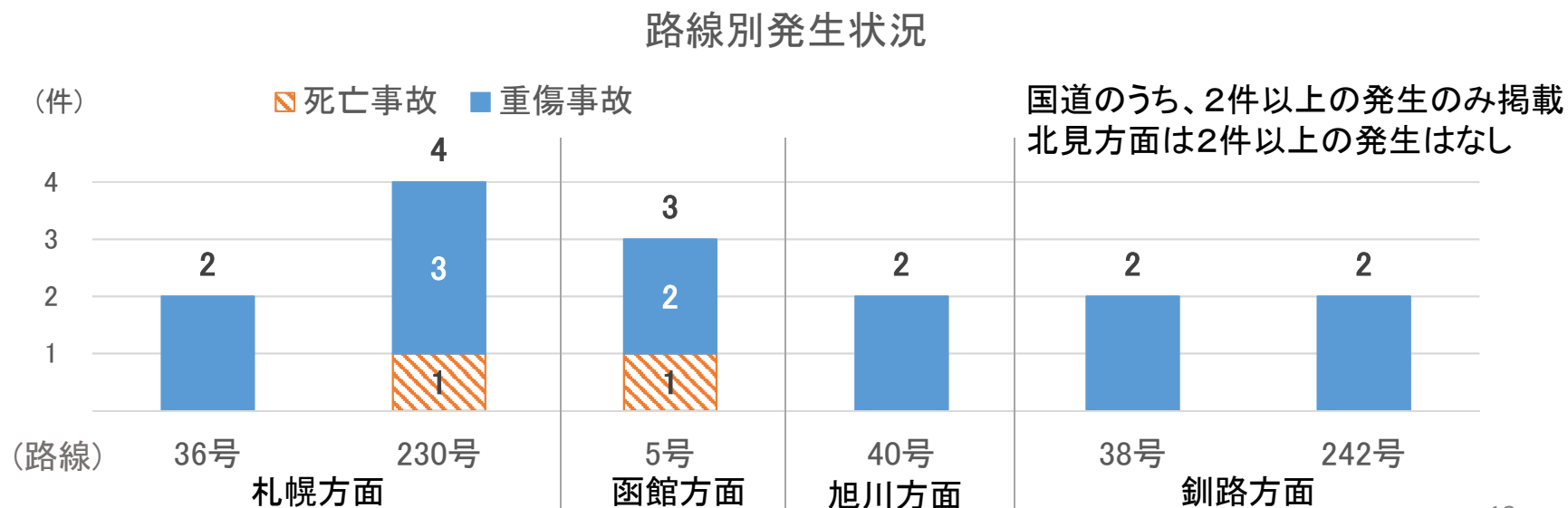
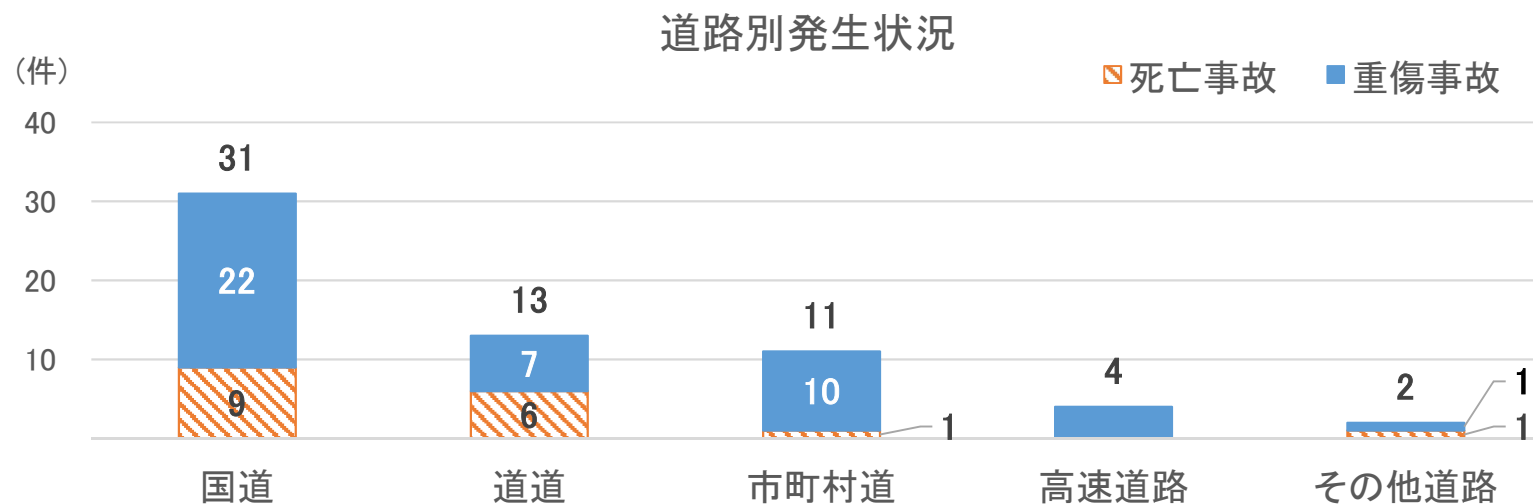
死亡事故で見ると非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。
重傷事故で見ると非市街地直線が最も多く、次いで市街地直線が多い。

地形別発生状況



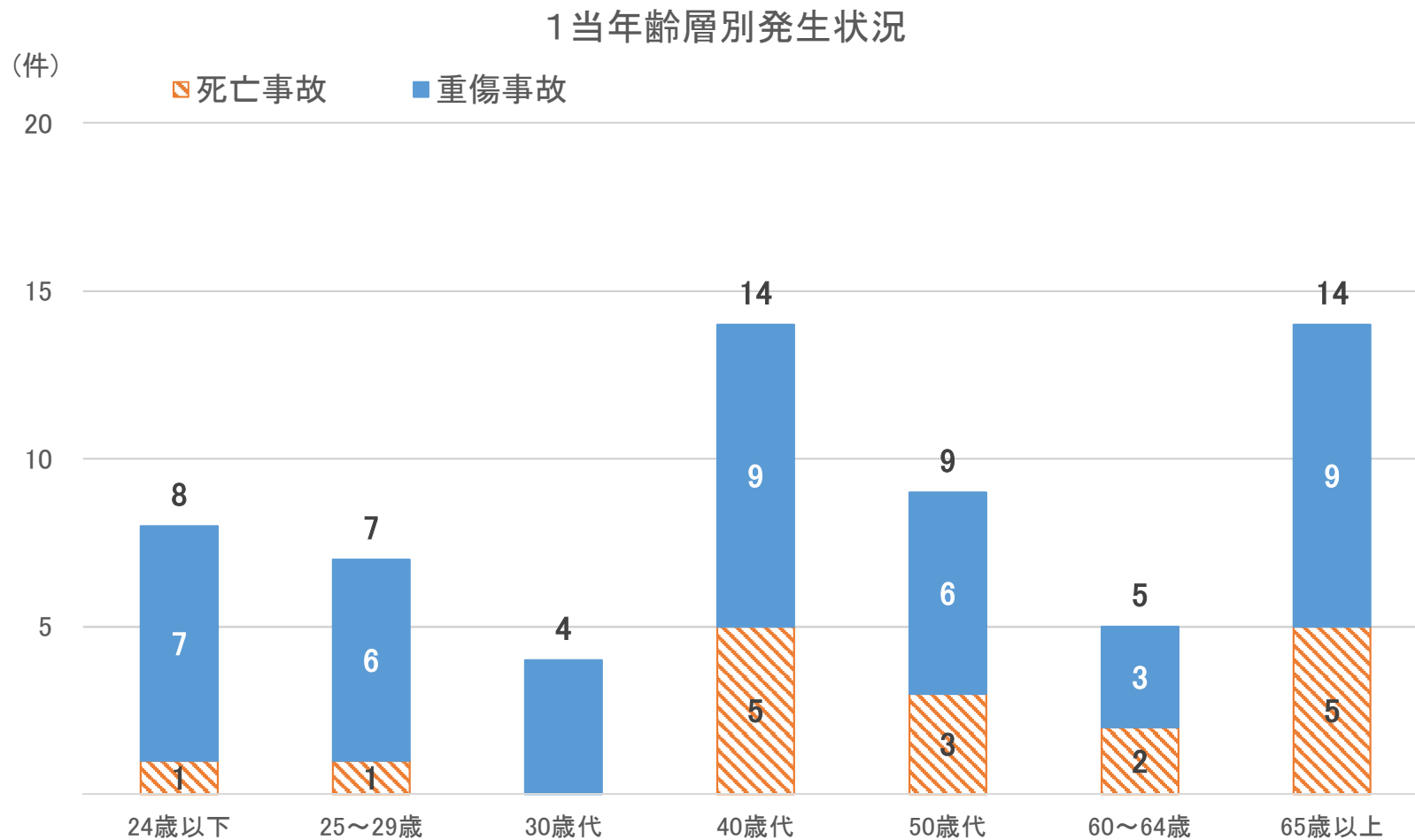
3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況

国道での発生が最も多く、次いで道道が多い。



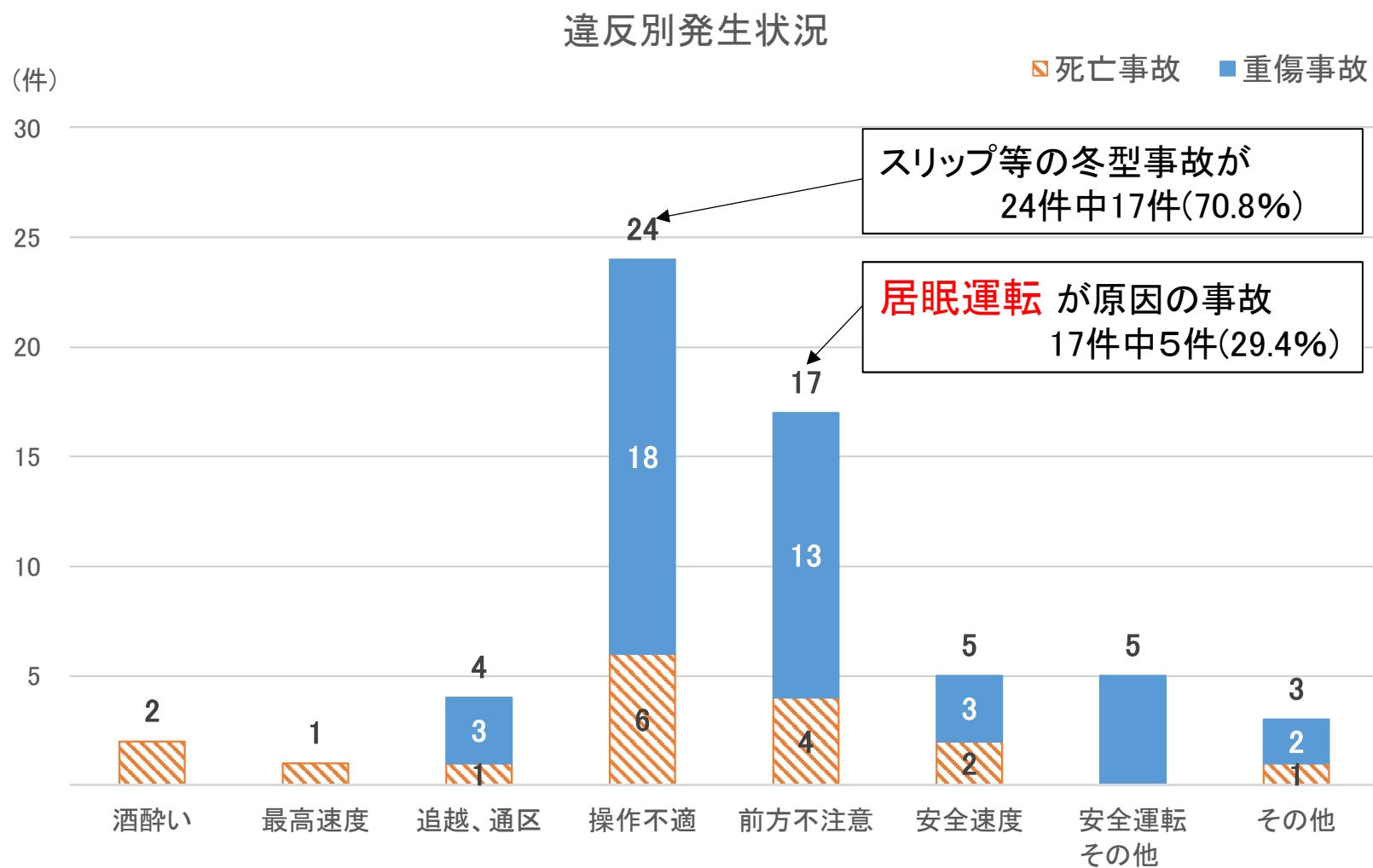
3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況

死亡事故、重傷事故ともに65歳以上の高齢運転者及び40歳代が最も多い。



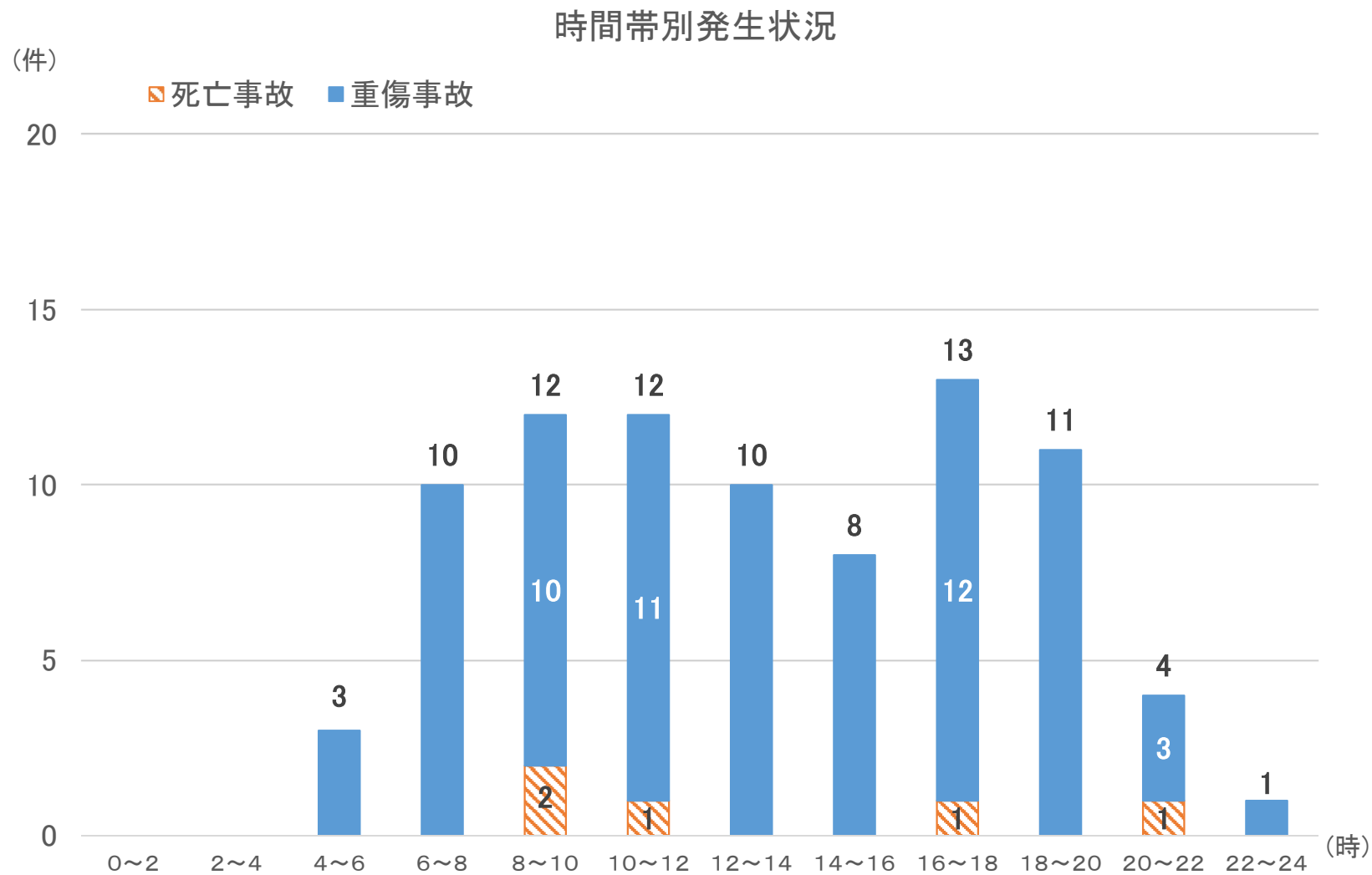
3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況

死亡事故、重傷事故ともに操作不適が最も多く、次いで前方不注意が多い。



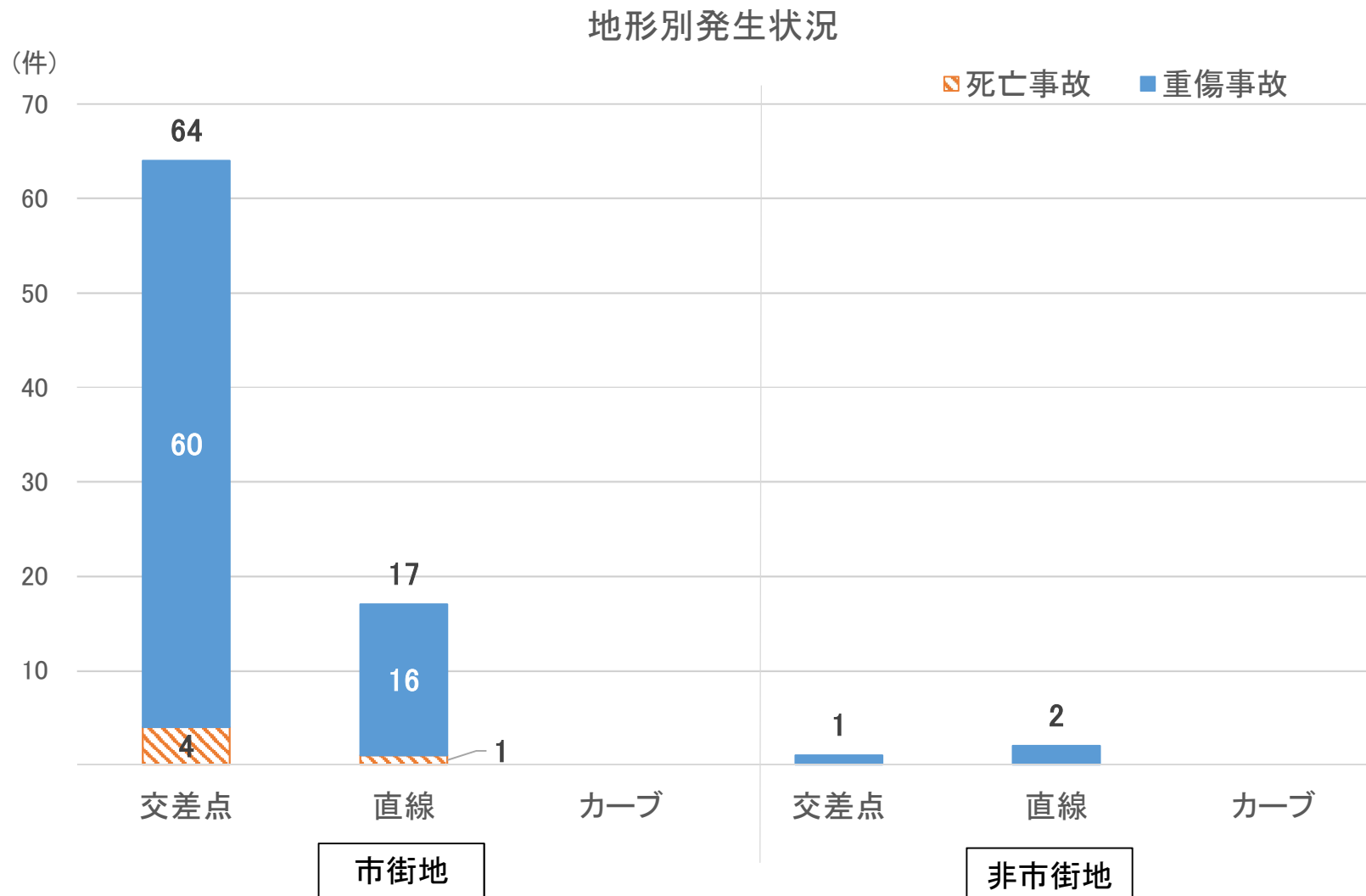
4-1 自転車対車における時間帯別発生状況

発生件数で見ると、16～18時が最も多く、次いで8～10時及び10～12時が多い。



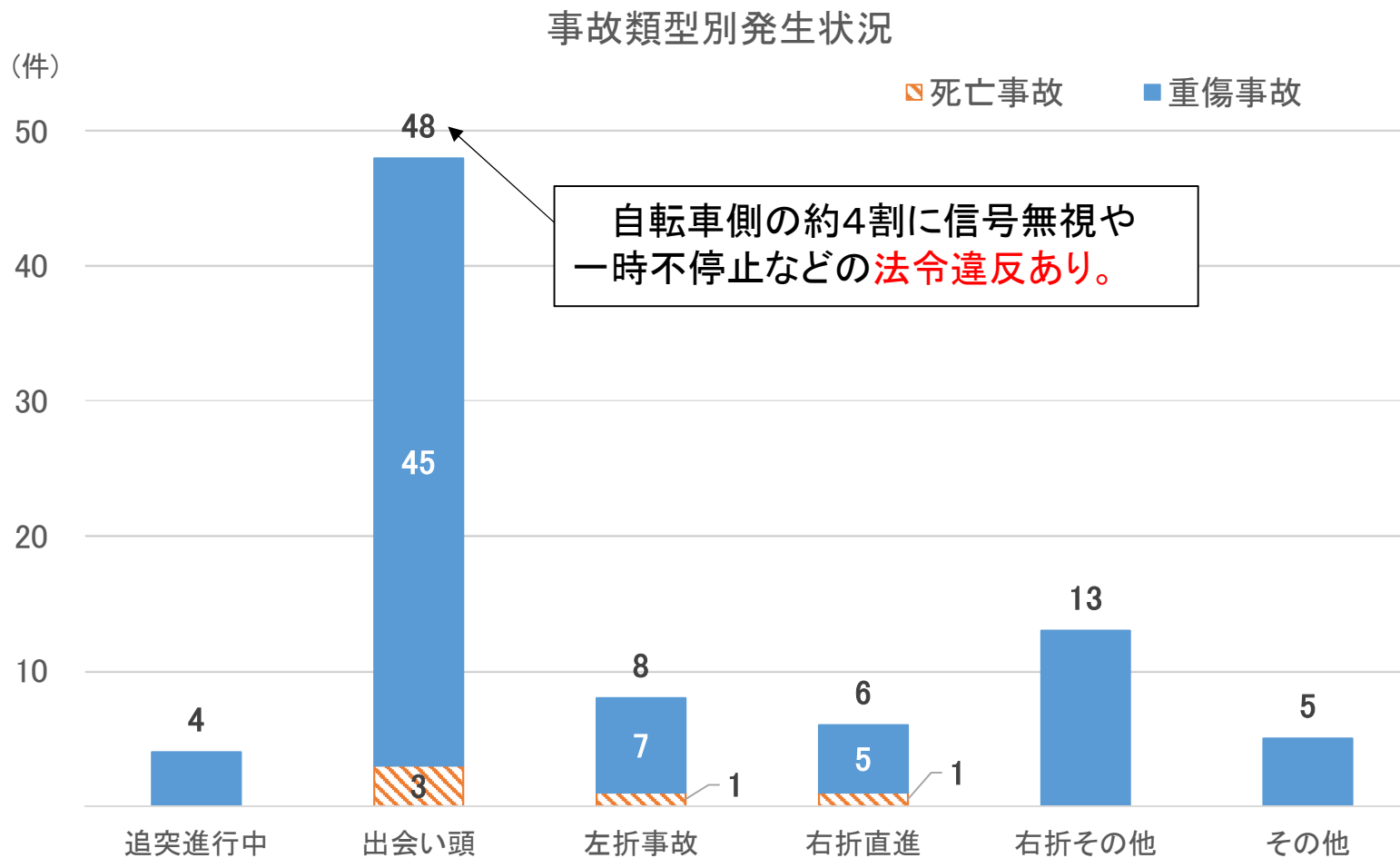
4-2 自転車対車における地形別発生状況

市街地交差点が突出して多く、次いで市街地直線が多い。
死亡事故は全て市街地で発生している。



4-3 自転車対車における事故類型別発生状況

死亡事故、重傷事故ともに出会い頭が最も多い。
出会い頭のうち、自転車側の約4割に信号無視や一時不停止などの法令違反あり。



(注)「左折事故」、「右折その他」とは一方の車両等が、左折、右折時に発生した事故をいう。

4-4 自転車対車における自転車乗用中の年齢層別死傷者数

65歳以上の高齢者が突出して多い。
死者は全て65歳以上である。

